

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	小学部	学 年	4年		
教科等名	図画工作	グループ名	学年		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・素材や形、色などの違いや変化に気付き、工夫しながら表現する。 ・完成をイメージし、作業への見通しをもって、用具を安全に扱いながら取り組む。 ・素材に親しみ、描いたり作ったりする活動を通して、作り出す喜びを感じる。 				
担当教員	○番田 洋子 木村 涼香 久木崎 未希 小林 幹太 立山 史織 松田 喜代美 堀井 活人				
予定授業時数	70				
使用教科書	偕成社 エリック・カールの絵本(ぬりえ絵本)わたしだけのはらぺこあおむし				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	ぬりえをしよう		・クレヨンや色鉛筆で色を塗る。	・絵や線を意識して、色を塗ることができる。	・季節に合った塗り絵を数種類用意する。
4	紙染めやにじみ絵で作ろう (花、こいのぼりなど)		・和紙を色染めしたり、模様を描いて霧吹きでにじませたりする。	・春をイメージし、絵の具やペンなどを選択して取り組み、作品を作ることができる。	・具体的な写真や絵を提示し、イメージできるようにする。
5	旗を作ろう オリジナルの旗を作ろう		・写真やイラストなどを参考に、自分のオリジナルの旗を作成する。	・色や形を意識しながら色を塗ったり描いたりする。 ・作成の手順に沿って、好きな色を選択して絵を描くことができる。	・児童の実態に合わせて、描きやすい見本を数種類提示する。
6	絵の具で描こう (あじさい、雨など)		・簡単な花の形を切り、台紙に貼り付ける。 ・絵の具で点々を描き雨を表現する。	・道具の扱いを知り、作業する。 ・筆で線を描く、塗るなど、様々な表現をする。	・児童の実態に応じた道具を用意し、安全に使用できるように支援する。
7	版画で描こう (自分の顔など)		・自分の顔写真をなぞり写した紙を切り張りして版を作る。 ・ローラーを使い、版画を行う。	・道具を安全に扱い、作業する。 ・自分の顔のパーツなどをよく見て版を作ったり、版で写し出された面白さに気付いたりする。	・児童の実態に応じた道具を用意し、安全に使用できるように支援する。
9	粘土で作ろう (小物入れなど)		・立体物の周りに紙粘土を付け、飾りつける。	・土台に粘土をしっかりと付け、色や装飾を工夫して作成することができる。	・粘土が土台に付きやすいように、素材を工夫する。
10	季節の作品を作ろう (秋の飾り)		・落ち葉やどんぐりなどを組み合わせ、飾りを作る。	・秋をイメージして落ち葉やどんぐりなどを選び、配置を工夫しながらボンドで貼り付ける。	・自然の素材を安全に使用できるように、事前に下処理をする。
11	学習発表会のポスターや看板を作ろう		・学習発表会のポスター、展示作品の看板や装飾を作成する。	・自分たちが演じる舞台発表の内容や展示作品についてイメージして制作することができる。	・舞台発表や展示作品について振り返り、意欲的に取り組めるように促す。
12	季節の飾りを作ろう (正月飾り)		・新聞紙を丸めたり、和紙などの紙をちぎったり貼ったりして達磨を作る。	・素材を使ってお正月をイメージした作品を作る。	・材料を選択する機会を設け、素材の感触を味わいながら作業できるように促す。
1	墨で描こう (墨絵) 作って遊ぼう (紙相撲)	○	・墨汁と毛筆で干支を描く。 ・線を意識して色を塗ったり、切ったりして作る。	・墨の濃淡や、彩液で色を付けることで、正月の明るい雰囲気表現する。 ・完成をイメージし、手順を理解して取り組むことができる。	・丈夫で破れにくい半紙や和紙を用意する。 ・タブレット端末を活用して相撲のイメージをもたせる。
2	毛糸を巻いて作ろう (ひな飾り)		・毛糸を台紙などに巻き付けて雛飾りを作る。	・寒い季節に合った毛糸の温もりを感じながら、ぐるぐる巻きつけたものを着物に見立て、雛飾りを作る。	・季節の題材をイメージできるように、写真やイラストを提示する。
3	卒業・進級をお祝いしよう(共同作品)		・お花紙や折り紙を使い、ちぎり絵や、学んできた技法を生かして、壁面装飾作品を作る。	・春をイメージして共同作品の制作を行う。友達と協力して一つの作品を作り出す喜びを感じる。	・友達と協力し、ダイナミックな作品になることに気付けるような言葉掛けを行う。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。